



札幌市自立支援協議会

東区地域部会

第24号 令和3年3月発行

令和2年度東区地域部会の活動報告をいたします！

東区地域部会では、例年『全体会』を開催し、東区地域部会の活動報告や、区内事業者間での交流会を開催し、顔の見える関係づくりを行ってまいりました。しかし、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「タピネット」で事業報告をさせていただきます。

併せて、新型コロナウイルスに関する情報提供もさせていただきますので、ぜひ最後までご覧ください。



札幌市自立支援協議会東区地域部会の活動報告

◆東区地域部会って何？

私たちは、札幌市自立支援協議会（※）の下部組織として、障がい当事者、障がい福祉事業者、行政機関、その他東区内の様々な事業者との連携のもとに、障がい児者を含むすべての東区民が、障がいに関わらず、互いに理解しあいながら共生できる「地域づくり」を行うことを目的とした活動を行っています。さらに、専門部会として、子ども部会、ネットワーク部会を組織しています。

※札幌市自立支援協議会は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づいて設置され、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものです。

◆令和2年度には、どのような活動をしていたの？

今年度は新型コロナの流行で満足な活動はできませんでしたが、東区内の障がい福祉サービス事業所へ新型コロナウイルス感染症に関わるアンケートを実施し、事業所から困りごとや対策を集めて、地域課題となるものの対応策を協議しました。

タピネットでの情報提供もその一環です。

◆今後の活動予定は？

新型コロナウイルスの流行状況も見ながら、定期的に会議を行い、地域課題の対応策を検討していったり、区内の当事者、事業者、関係者の交流会などを行う予定です。



子ども部会の活動報告

1 子ども部会の概要と目的

令和二年度東区子ども部会のテーマを「小さな地域づくり」と題して、大義名分のものに身の丈に合わない活動をするのではなく、私たちの活動の範囲において背伸びをせず素直に正直にできるところから地域づくりすることを目的に活動しています。今年度は、新型コロナウイルスの流行にともない、参集しての協議、学びの場の提供が難しい中、正確な情報発信をすることを念頭に令和二年度第九回ウェルトーク「将来を見据えた進学について～特別支援学校高等部について考える」という題にて情報発信を行いました。

2 令和二年度活動内容（令和二年度第九回ウェルトーク）

昨年より全国の特別支援学校高等部・高等支援学校の入学選考内容が変わりました。札幌市も同様に内容が変わったものの、市立校と道立校がある特殊性から混乱された方も多かったのではないのでしょうか。

小学校、中学校は、義務教育であり、どの子ども教育を受ける権利を有しています。その先の教育に関しては、義務教育ではなく子ども達自らが主体的に学ぶ姿勢が必要になると言えます。一般的には普通高等学校への進学が主なところでしょう。しかし、必ずしも発達に特徴のある子どもに適した進学先が整っているわけではないのが現実です。まずは、特別支援教育として設置されている特別支援学校高等部・高等支援学校について正しい知識を得て子どもたちの将来を見据えた進学について考えるきっかけを作るため、本テーマを取り上げました。

詳細 URL

<http://one-all.net/wp-content/uploads/2014/12/tapinet-gougai202011.pdf>

詳細 QR コード



情報発信したウェルトーク

3 今後の活動予定

新型コロナウイルスは、三つの密を避けないとなりません。その点では、参集した活動は大変困難となります。オンライン会議システムの活用なども考えられますが、準備や、時間調整が難しいこともあり、今後の活動予定は残念ながら未定です。



ネットワーク部会の活動報告

1 ネットワーク部会の概要と目的

○東区内の事業所の連携を創り、顔の見える協力関係を築く。
単一事業のネットワークに限らず、児童期から成人期、高齢期までの生活、就労、余暇、相談、様々な事業種別の垣根を超えたネットワークの作成

○現場の困り感の抽出を図る
良質なサポートの提供を阻害している「支援現場の課題」を抽出し解消を図る。
これができれば、これがあれば、支援現場はもっと良くなる。

○おもしろいこと、東区らしいことを考えて実行する
地域や企業を巻き込み、事業者と行政が協議し、東区の福祉を創る

2 令和2年度の活動内容

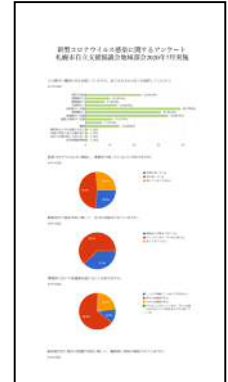
2020年度は諸般の事情により、月に一度開催していた「定例会」は中止。
「ふくしまルシェ」は第10回を迎える予定だったが翌年に延期と悔しい1年だった。

7月

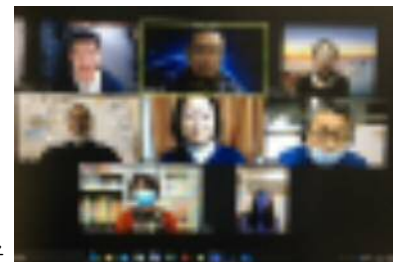
全市に先駆けて福祉事業者を対象とした感染と事業状況に関するアンケートの実施

アンケート項目は練り込まれたものではなかったかもしれないが、あの時期はとにかく「繋がる」というのが最重要で最優先の目的。しんどい思いをしている仲間たちが他にもいる、「大変だと声をあげる場所」があるということが、見通しのつかない状況の中で少しでも救いになればとの思いから、地域部会を含めての実施に至ることができた。

8月以降、オンラインによる世話人打ち合わせで状況や工夫の共有を図りつつも、課題の解消に向けた取り組みを提案できてないのは反省点。



アンケート結果はタピネット第23号で周知しました。



オンライン
打ち合わせの様子

3 今後の展望、活動予定

情報の発信ツール、共有の仕方を工夫しながら、この状況だからこそネットワークを強化できる取り組みの提案をしていく。SNSの利用や事業種別オンラインでの集まりなど。

新型コロナウイルスに関するお知らせ

◆札幌市などでは、障害福祉サービス事業所等で働く皆さまにご確認いただきたい情報を発信しています。前号でご紹介したのものもありますが、改めてお知らせします。

施設及び事業所等の感染症対策情報（札幌市 HP）

http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/shingata_corona/taisakugaido.html

新型コロナウイルス感染症対策研修動画、対策マニュアル、厚労省通知などが掲載されています。
関連ワード：感染予防、感染者発生時の対応、支援方法 など

新型コロナウイルス感染症について（札幌市 HP）

http://www.city.sapporo.jp/kinkyu_202002.html

新型コロナウイルスに関する情報ページです。市民・事業者向け情報や、各相談窓口のご紹介、PCR 検査や宿泊療養等に関する様々な情報が発信されています。

関連ワード：支援制度、感染予防、検査、感染した場合、相談窓口 など

新型コロナウイルスワクチン接種について（札幌市 HP）

<http://www.city.sapporo.jp/2019n-cov/vaccine/index.html>

同ワクチンに関する情報が掲載されています。



高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症に関する事例集 （厚生労働省 HP）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000750414.pdf>

高齢者施設等におけるクラスター発生、職員不足などの事例と、そこから得られた解決策のポイントが紹介されています。

◆東区内の障がい福祉サービス事業所から、新型コロナウイルスに関する資料をいただきました。社会福祉施設等においては、十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要なサービスを継続することが求められております。他事業所の例も参考にしながら、必要な対策・対応をしていただければ幸いです。

・新型コロナ対策マニュアル（別紙1）

居宅介護事業所からいただいた、感染対策及び感染発生時のマニュアルです。かなり詳細に検討されています。

・疑い発生事例への対応経過（別紙2）

PCR 検査受検者が発生した事例における対応記録です。これを一例として、発生時にどのように動くか事前にイメージをしておくことが大切ではないでしょうか。

・感染対策例（別紙3）

放課後等デイサービス事業所での感染対策例です。写真付きでわかりやすく紹介されています。

・利用者への周知例（別紙4）

児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所での利用ルールなどの周知例です。

他に情報共有いただける事業所様は、ぜひ以下までお知らせください！